

「齋宮に関する意識調査」実施報告

齋宮歴史博物館が実施しました「齋宮に関する意識調査」について、984名の方からご回答をいただきました。アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

平成28年6月8日（水）～平成28年6月28日（火）

(2) アンケート回収状況

対象者数 1,365名

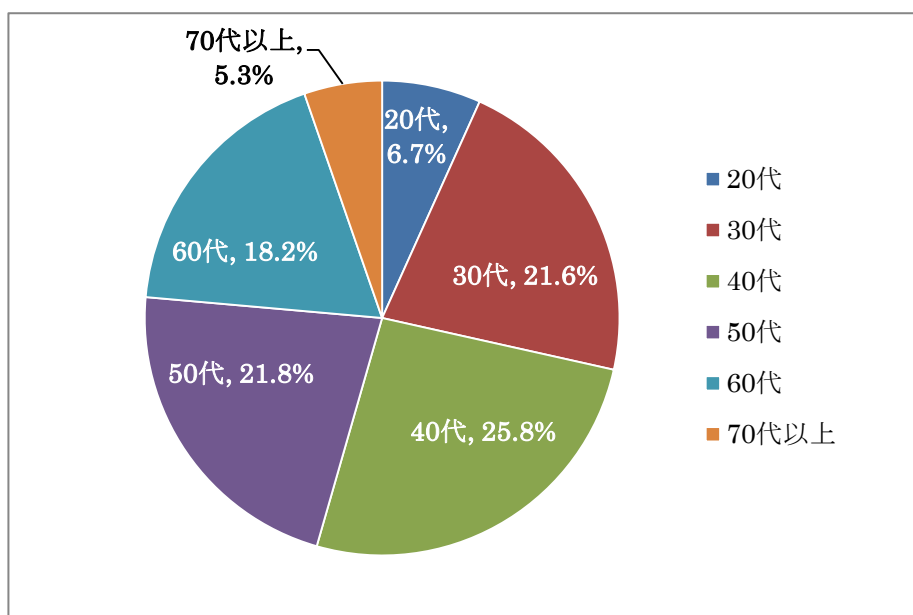
回答者数 984名

回答率 72%

(3) 回答者属性

【年代別】

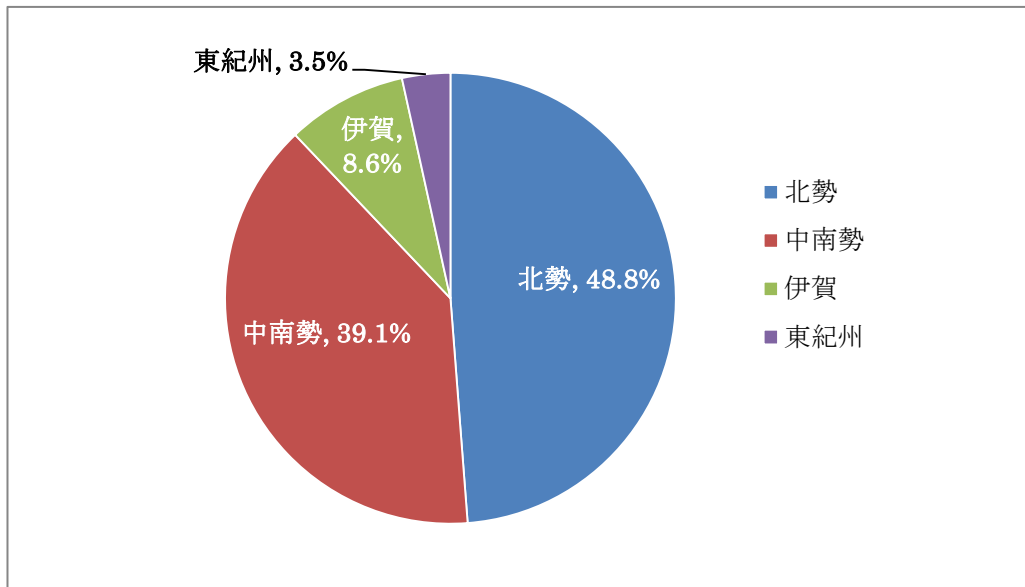
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数(人)	71	213	254	215	179	52	984
割合	6.7%	21.6%	25.8%	21.8%	18.2%	5.3%	100%



※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【地域別】

	北勢	中南勢	伊賀	東紀州	計
回答者数(人)	480	385	85	34	984
割合	48.8%	39.1%	8.6%	3.5%	100%



※[北勢] 桑名市、木曾岬町、いなべ市、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市

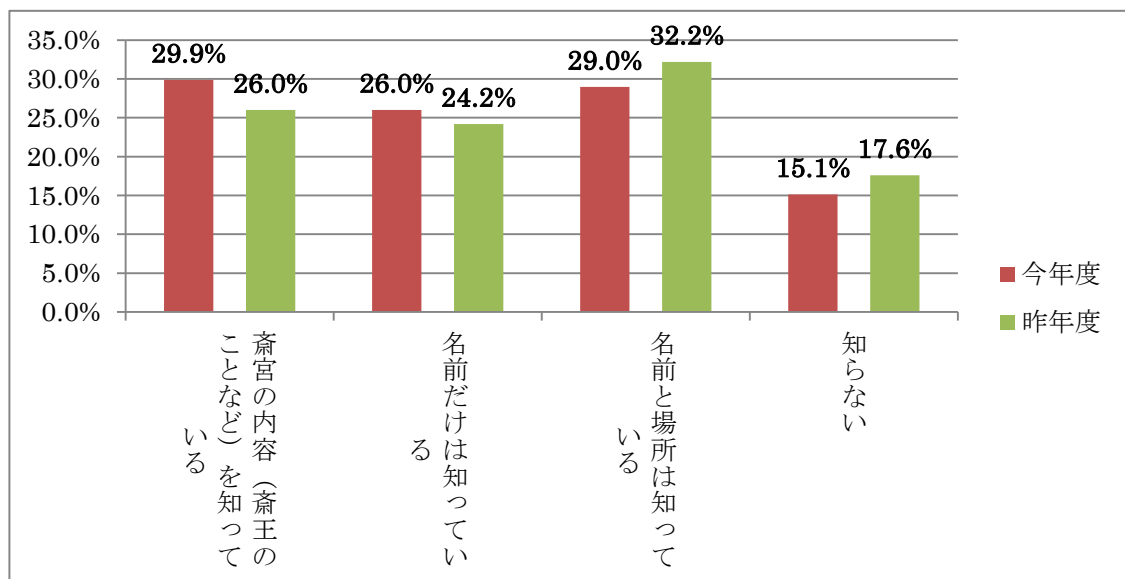
[中南勢]津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、玉城町、大紀町、南伊勢町、度会町、

[伊賀] 伊賀市、名張市

[東紀州] 尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町

(4) アンケート集計結果

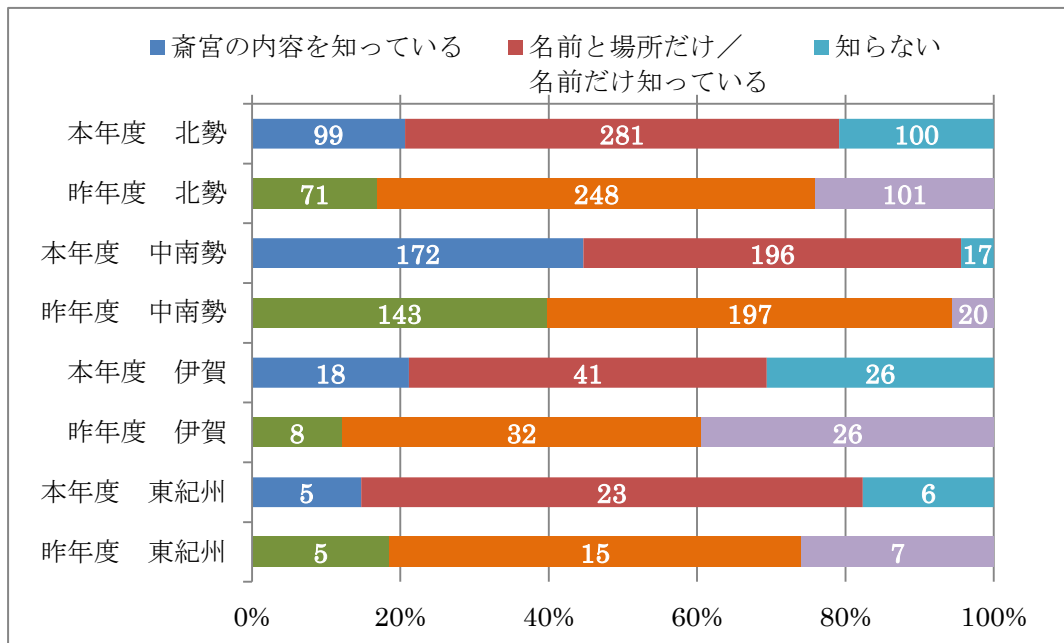
Q1 齋宮をご存じですか。



※昨年度は、「齋宮の内容を知っている」の選択肢を「具体的に知っていた」としていました。

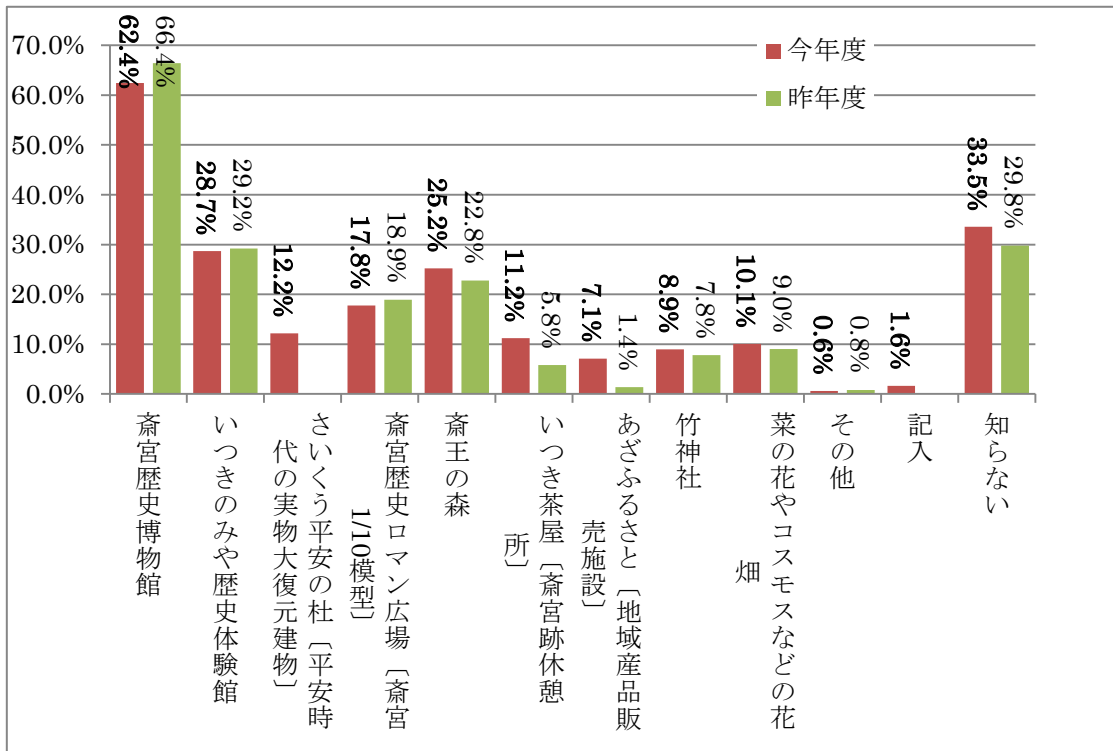
昨年度に比べ、齋宮のことを知らない割合が 2.5%減少し、齋宮の認知度が上昇しました。また、齋宮の内容を知っている、名前だけは知っているが増加しています。昨年度から日本遺産の認定やさいくう平安の杜の開園の広報宣伝等により、齋宮の名前や情報に触れる機会が増えた影響が考えられます。

【地域別にみた齋宮の認知度（数字は回答者数）】



中南勢では、昨年度同様に認知度は高いので、今後は、名前や場所だけではなく内容を知っている人を増やしていくことが課題です。中南勢以外の地域で齋宮の内容を知っている割合が低いのは、齋宮来訪機会の低さによるものと考えられます。

Q2 齋宮に関する施設で、ご存じのものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

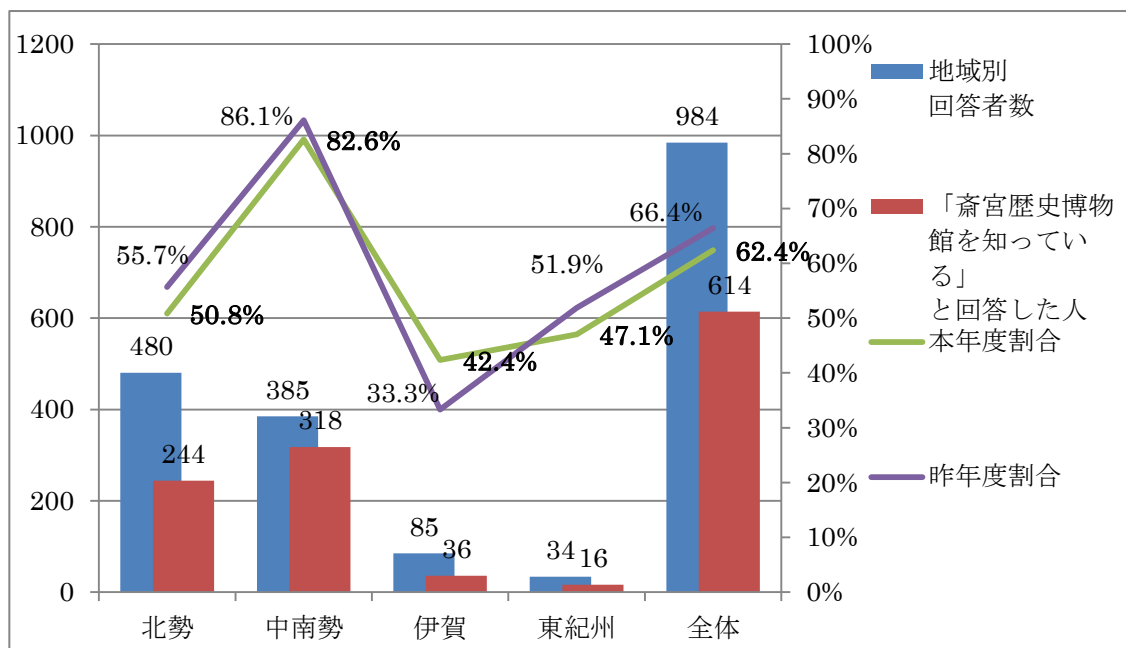


齋宮歴史博物館、いつきのみや歴史体験館、齋宮歴史ロマン広場などの史跡内の主要施設の認知度が昨年度に比べ下落しています。また、施設を全く知らない割合も増えています。これらは、Q1の回答とともに考えますと、認知度は向上したものの、齋宮の名前や場所を知っているだけで、そこに何があるかを知らない人が多いことが推測できます。

なお、「記入」の主な内容は次のとおりでした。

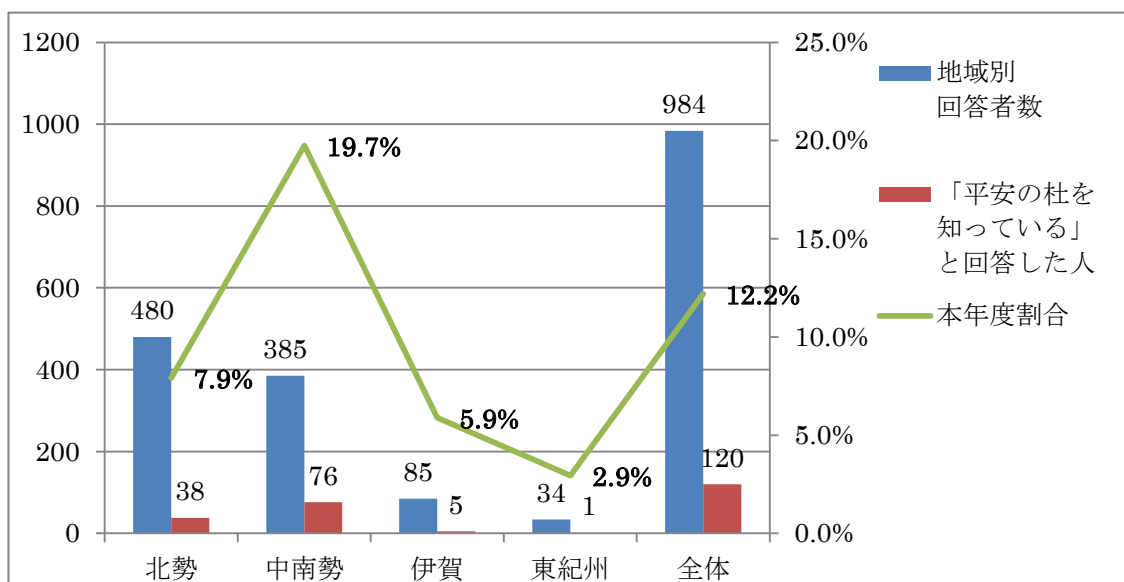
- ・復元された古代道路
- ・齋王の墓（※明和町内 ただし史跡外）
- ・水池土器製作所跡（※明和町内 ただし史跡外）

【地域別にみた「齋宮歴史博物館」の認知度（数字は回答者数）】



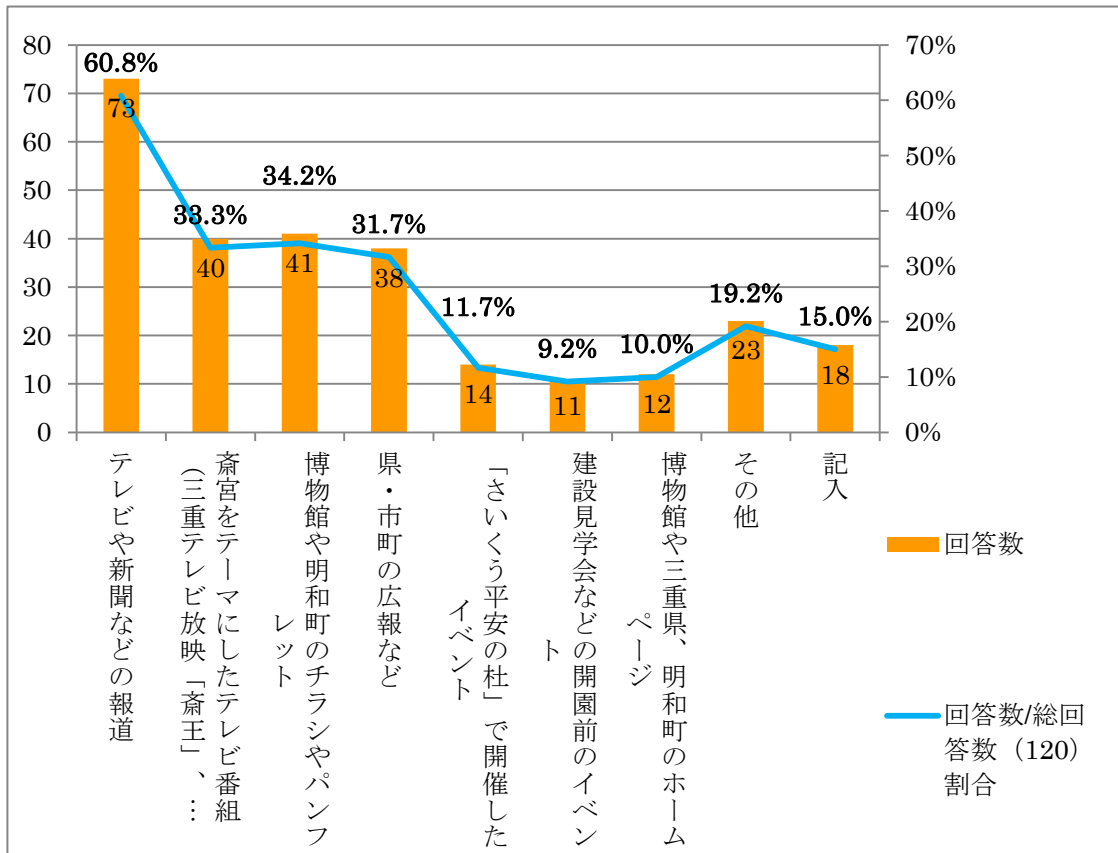
伊賀地域で認知度がわずかに上昇しましたが、総体としてみれば、昨年度と同様に、北勢、伊賀、東紀州地域で認知度が低い状態が続いています。これらの地域での認知度向上が課題です。

【地域別にみた「さいくう平安の杜」の認知度（数字は回答者数）】



「さいくう平安の杜」が開園して半年が経過しましたが、地元である中南勢地域でも認知度は2割に満たない状況です。

Q3 Q2で、「さいくう平安の杜」を知っているとお答えいただいた方にお聞きします。どのような機会に知りましたか。



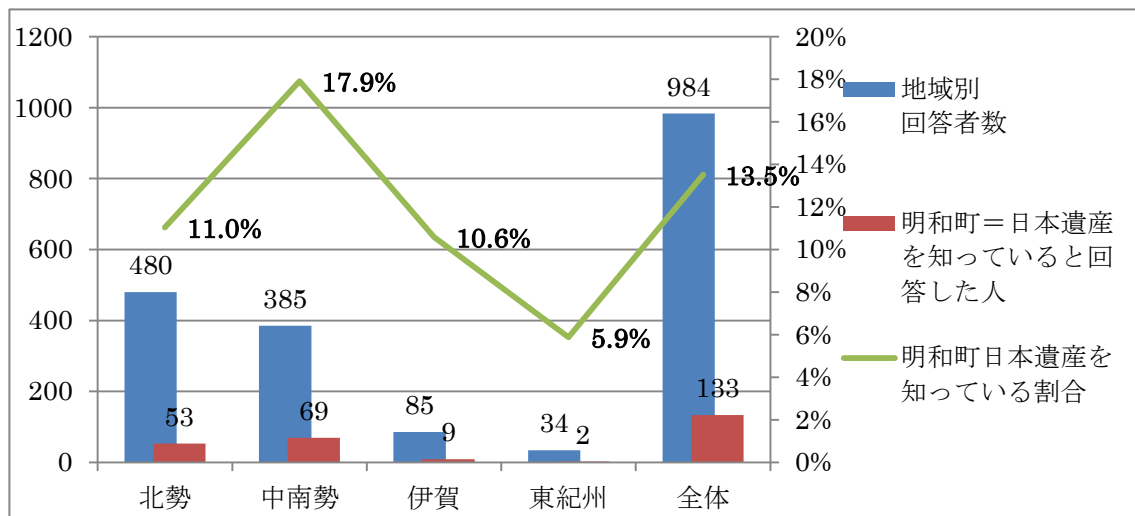
認知度向上に、イベントの開催はあまり効果が無く、マスメディア、広報刊行物等の効果は高いようです。

なお、「記入」の主な内容は次のとおりでした。

- ・ 現地に行った、付近を通った
- ・ 電車から見えるから
- ・ 近鉄のウォーキングイベントで訪れた
- ・ 地元なので
- ・ 齋王まつりのとき知った
- ・ 知人から聞いた
- ・ 他の博物館のイベントで知った
- ・ 関係者から聞いた

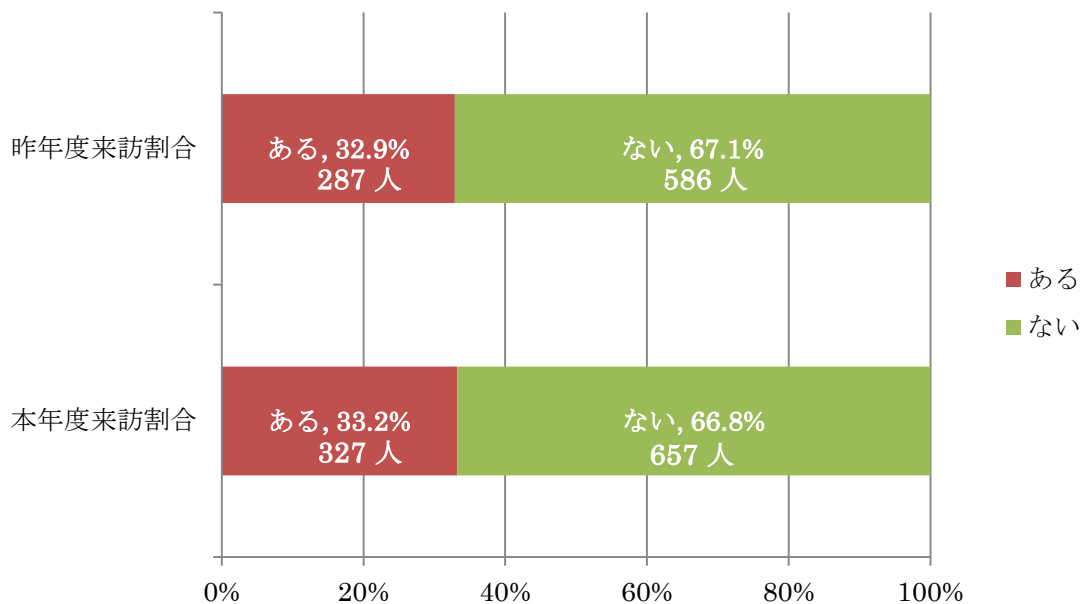
Q4 明和町の「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」が日本遺産に認定されていることをご存じですか。

【地域別にみた明和町の日本遺産登録の認知度（数字は回答者数）】



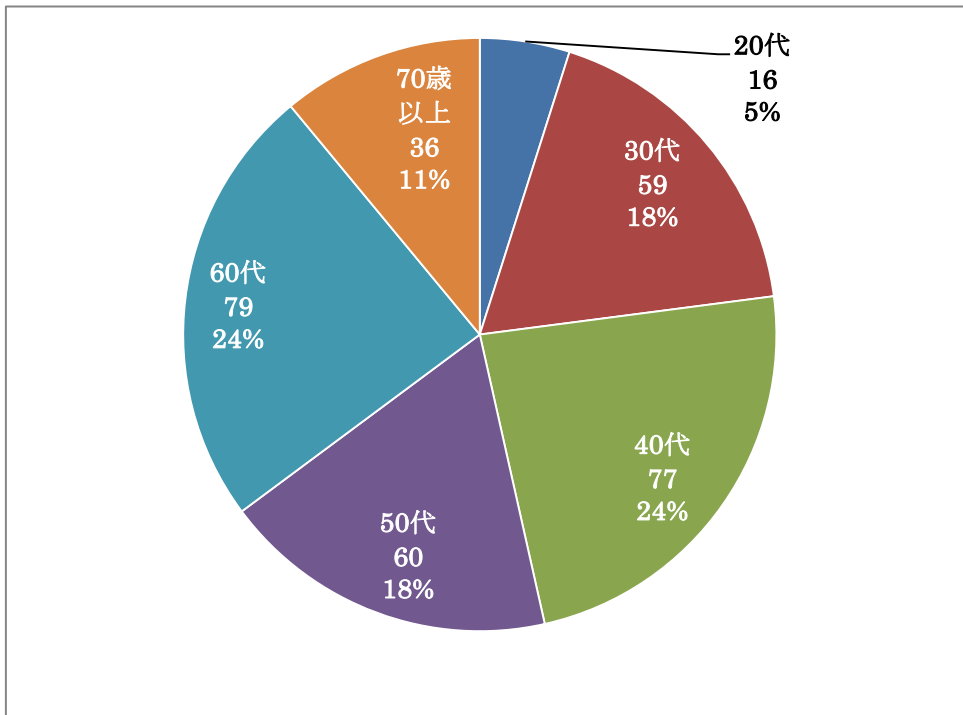
明和町の日本遺産登録について、全体、地域別ともに、「さいくう平安の杜」の認知度と似た傾向・数値ですが、「さいくう平安の杜」と比べ、北勢・伊賀地域は相対的に若干高い割合を示しています。

Q5 あなたは斎宮に行かれたことがありますか。



わずかですが、斎宮来訪者の割合が増加しました。斎宮認知度の上昇によるものか、今後の推移にもとづく確認が必要と考えています。

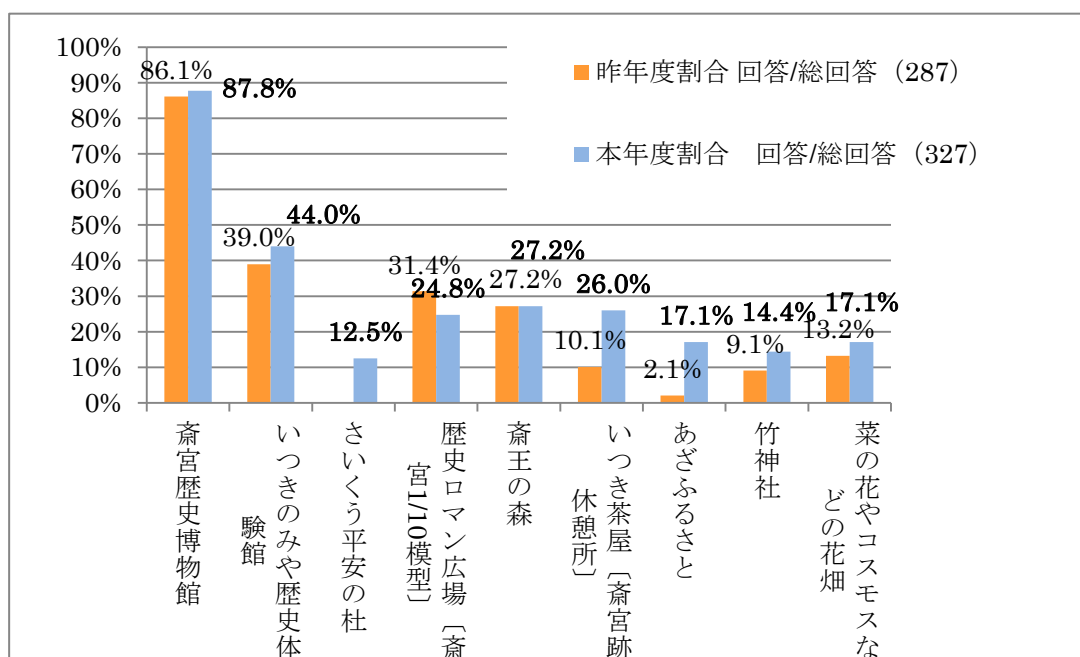
【齋宮を訪れたことがある回答者の年齢層】



20代の割合が昨年度の9%から5%に減少しています。50代～70代以上が、昨年同様53%と、来訪者の半数を占めています。

Q6 Q5で、「ある」とお答えいただいた方にお聞きします。その時どこに行かれましたか。
あてはまるものをすべて選んでください。

【齋宮訪問者の訪問先の割合】

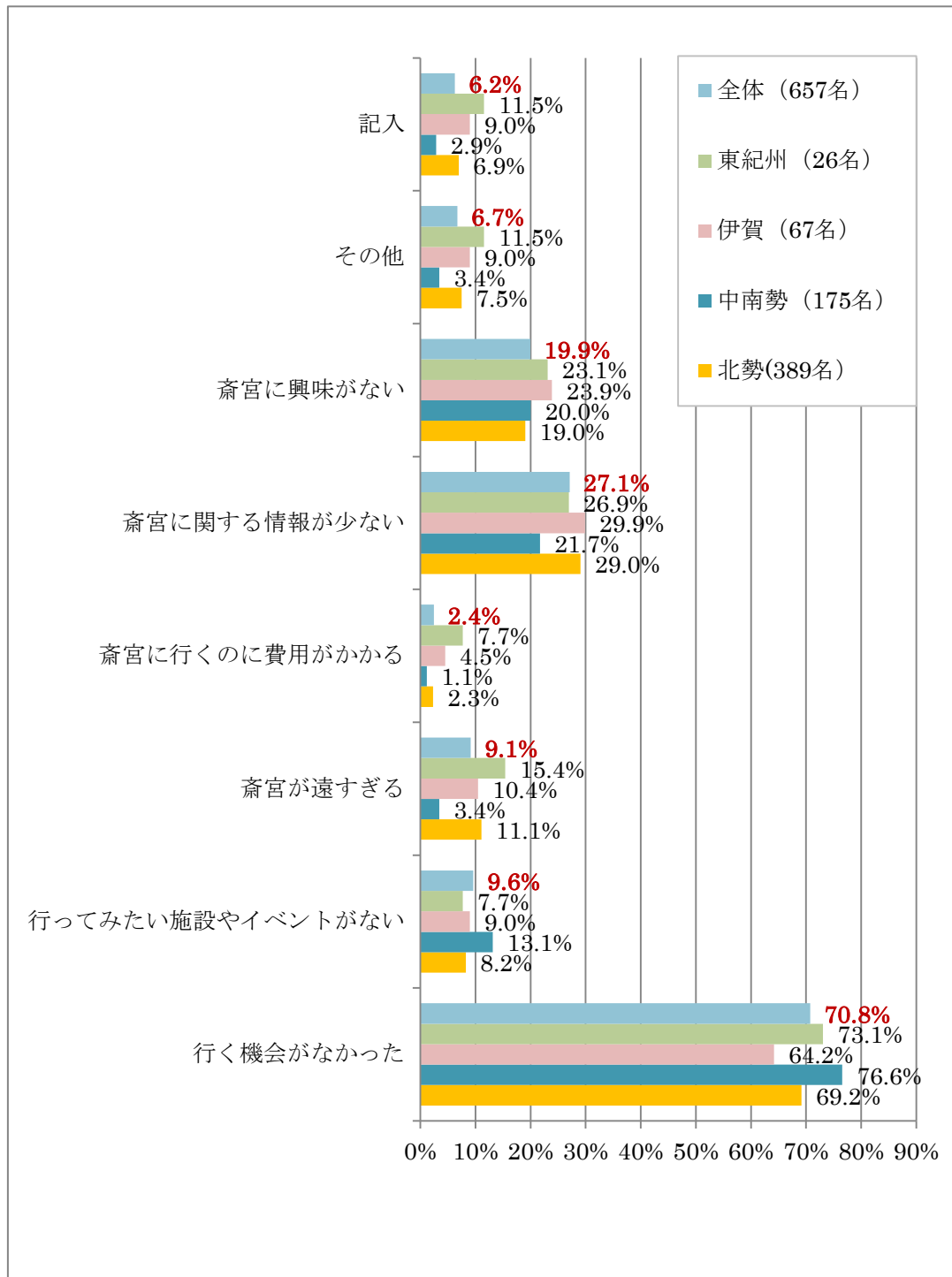


昨年度に比べ、齋宮歴史博物館、いつきのみや歴史体験館、物販施設など、多くの箇所
で訪問率が増加しました。ただ、9割近くの博物館と比べ、他の施設は5割以下にとど
まっていて、齋宮跡を訪れた際、多くの方が博物館だけを訪れ、他の施設を訪れていな
いことを示しています。史跡の整備が進むなかで、史跡内の各所の訪問率が今後も上昇
を続けるか、さいくう平安の杜の動向とともに注視したいと考えています。

なお、「その他」8件 0.8%、「記入」7件 0.7%ですが、「記入」では、「芝生広場」のほ
か、「ハナショウブ群落」「水池土器製作所跡」など明和町内の史跡外の施設・場所を回
答されていました。

Q7 Q5で、「ない」とお答えいただいた方にお聞きします。齋宮に行くことがなかったのは、どのような理由ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

【地域別 各回答数、「ない」と回答した総数に対する各回答の占める割合】



「行く機会がなかった」が全体で7割を占めますが、同時に「行ってみたい施設やイベントがない」や「齋宮に興味がない」を選ぶ人もいることから、「行きたいけれど」行く機会がなかったと受け取ることはできないようです。

新聞や自治体の広報などで齋宮の情報に触れる機会の多い中南勢を除いた他の地域では、齋宮に関する情報が少ないと感じている方が多く、Q2でみた施設の地域別認知度

と合わせて見ると、齋宮の情報が届いていないことがうかがえます。

なお、「その他」は44件6.7%、「記入」は41件6.1%でした。

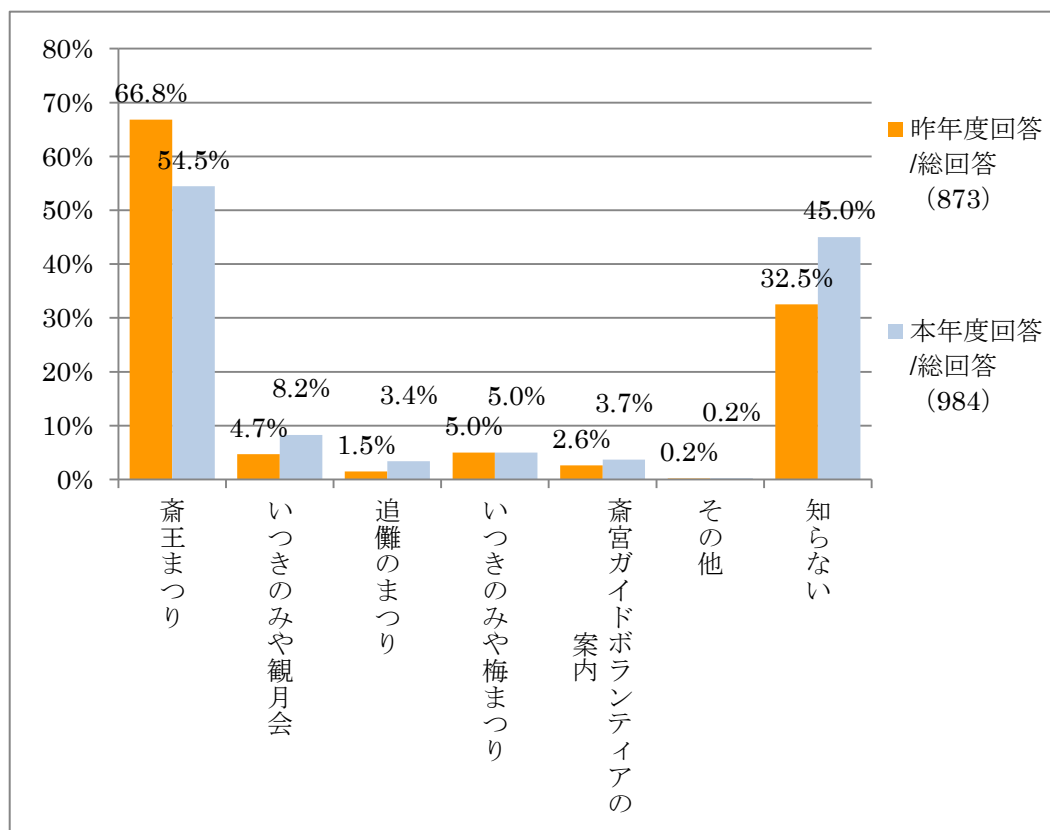
「記入」の主な内容は次のとおりでした。

- ・ 齋宮を知らなかったから
- ・ 場所を知らないから
- ・ 交通が不便だから

【行く機会がなかったと回答した人が選んだ、他の理由】 (人数)

	行く機会 がなかつ た	行ってみ たい施設 やイベント がない	齋宮が遠 すぎる	齋宮に行 くのに費 用がかか る	齋宮に関 する情報 が少ない	齋宮に興 味が無い
北勢	269	21	32	8	67	29
中南勢	134	16	6	1	24	12
伊賀	43	5	6	3	12	4
東紀州	19	2	3	1	5	4
	465	44	47	13	108	49

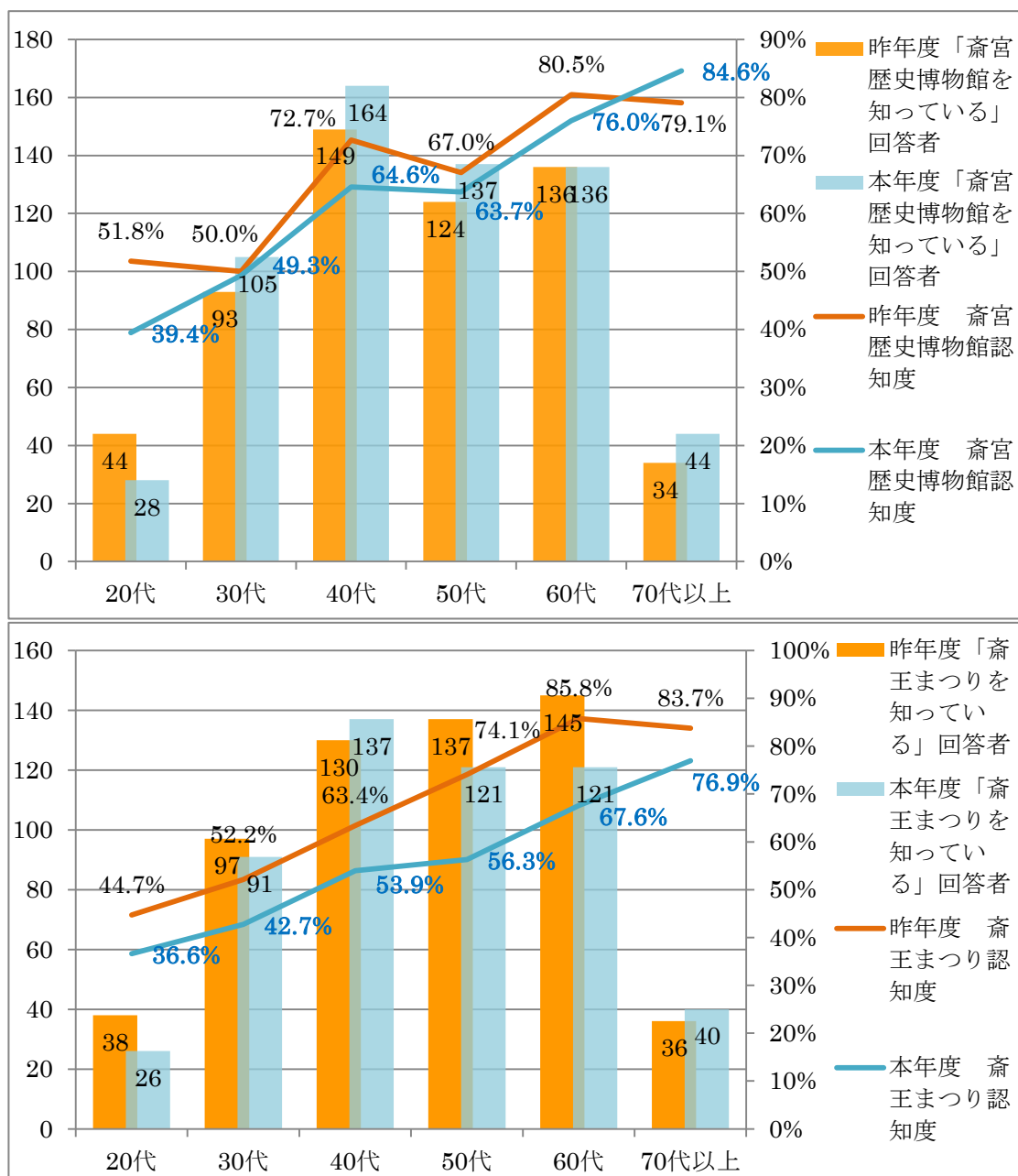
Q8 齋宮でのイベント等で、ご存じのものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



昨年度に比べ齋王まつりの認知度が約 10 パーセント下がる一方、齋宮に関するイベントを全く知らないが 10 パーセント以上上昇しています。昨年度も今年度も齋王まつりを知っている人と齋宮のイベントを知らない人の割合の合計が 100% 近くとなっています。齋宮のイベント認知を増やすためには、齋王まつりが認知されることの重要性を示しています。

なお、「記入」は 2 件 0.2% でしたが、齋宮のイベントではありませんでした。

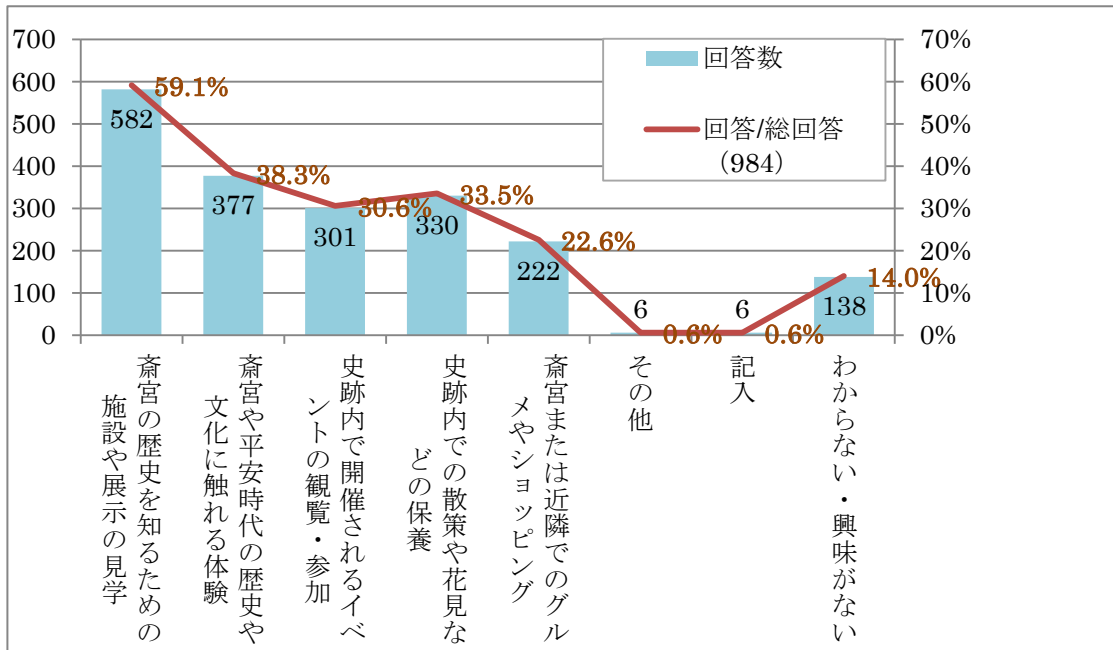
【年代別にみる齋宮歴史博物館（Q2から抽出）と齋王まつりの認知度】



博物館の認知度については、昨年度比では20代、40代の落ち込みが顕著です。70代以上では昨年度よりも5%以上上昇しました。

齋王まつりの認知度については、昨年度と比べると全世代で昨年度より低下しており、特に50・60代で18%低下しています。

Q9 齋宮に行くとしたら、何をしたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

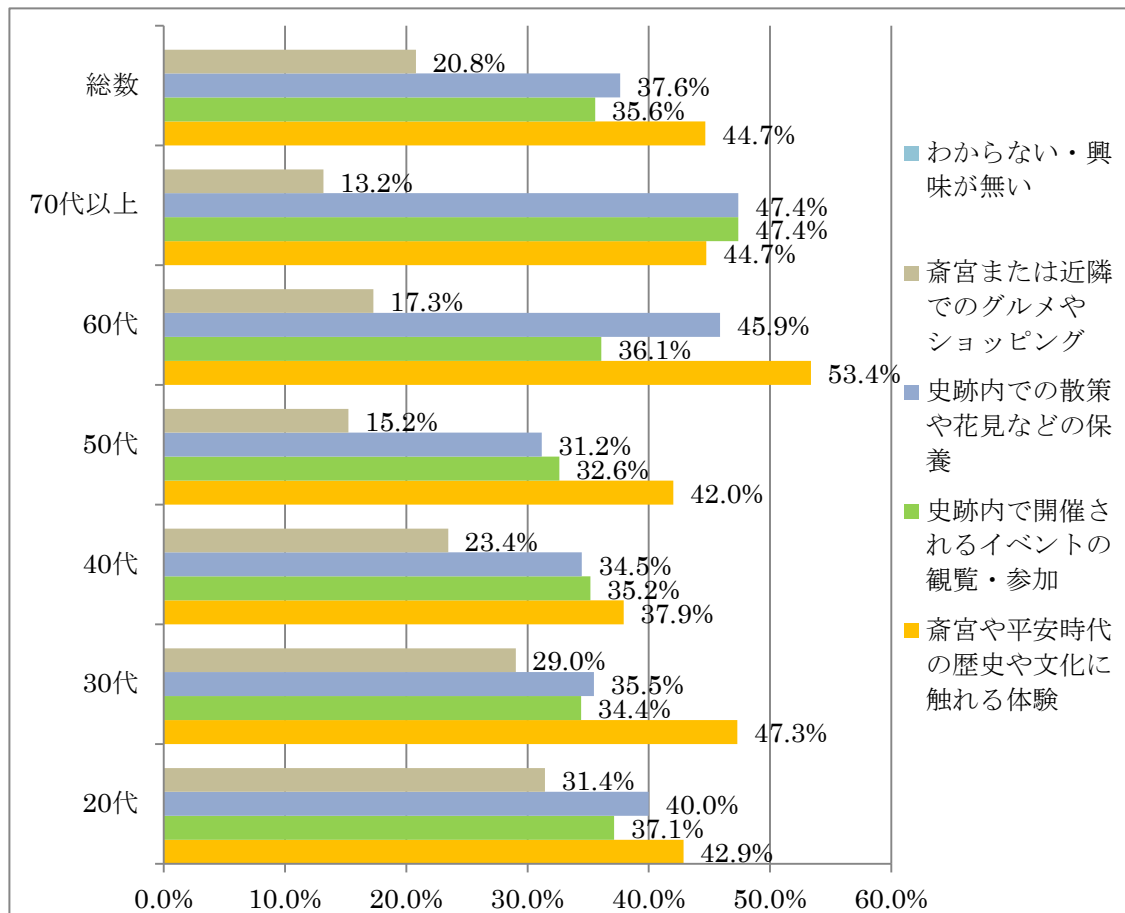


全体としてみると、博物館が主に対応することになる齋宮の歴史を知りたい人が6割近くいます。また、3人に1人は、文化体験やイベント、散策や保養などを期待しており、その受け入れ態勢が重要です。グルメやショッピングは2割程度で、他の要素に比べると齋宮来訪時の動機づけとしては弱いようです。

なお、「記入」の主な内容は次のとおりでした。

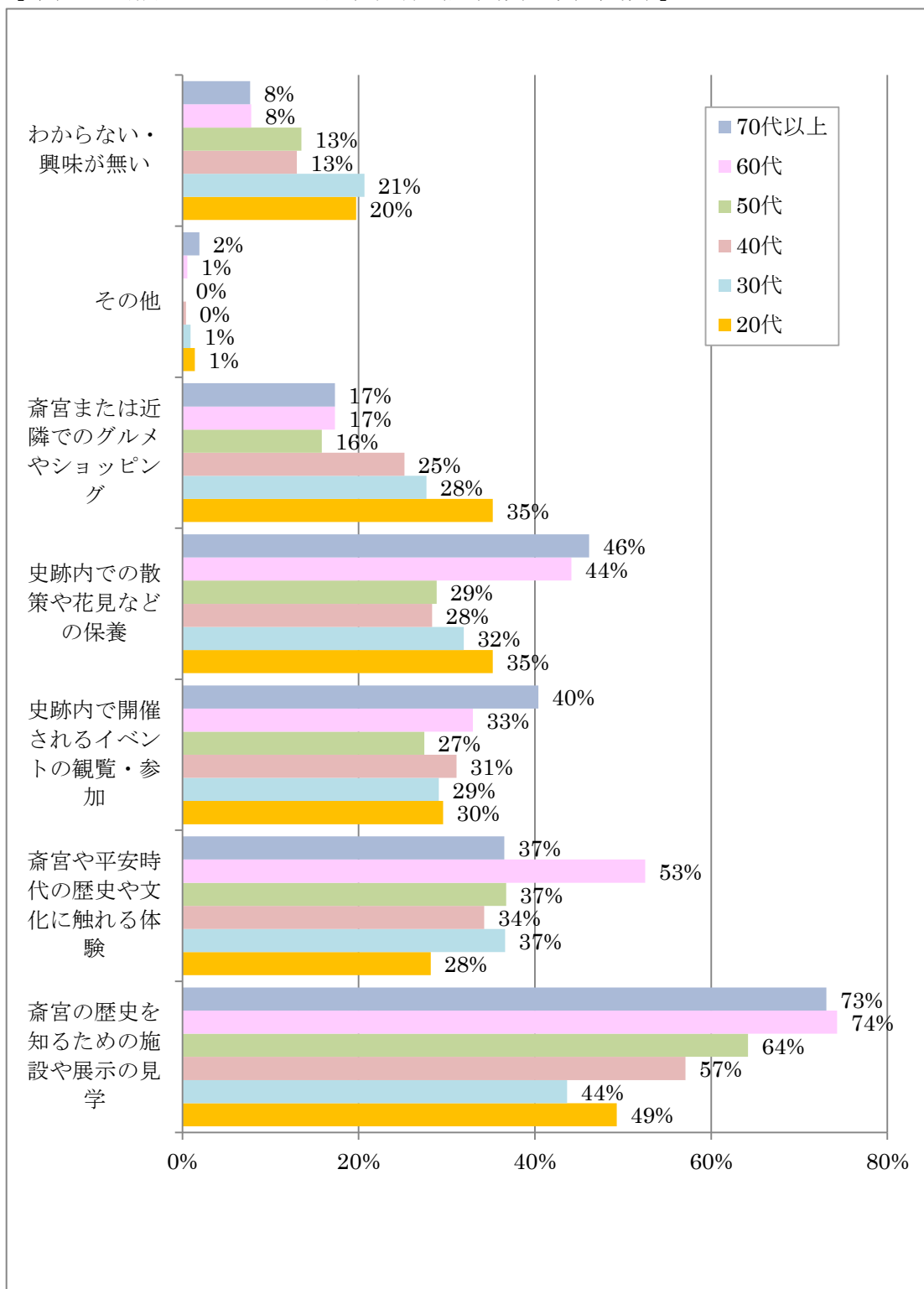
- ・歴史発見ラリーレイド競技

【年代別にみた齋宮の歴史を知るための施設や展示の見学と回答した人が、それ以外に回答した選択肢の割合】



6割の人が齋宮の歴史を知ることが齋宮来訪の動機としていましたが、その人たちがそれ以外にどのようなことに興味があるかを年代別に集計しました。どの年代も歴史・文化体験に高い関心があるようです。20・30・60代は、イベントよりも史跡内の散策や保養に関心があり、40代・50代は史跡内の散策・保養よりもイベントに関心があるという結果が出ています。また、どの世代もグルメやショッピングは、選択肢のなかで一番低い結果になっていますが、若い年代ほど、回答率は上がっています。

【年代別 齋宮でしたいこと回答割合（回答数／年代総数）】



齋宮でしたいことを年代別で集計すると、全体で6割の回答があった「齋宮の歴史を知るための施設や展示の見学」では、高齢者ほど回答率が高い傾向があります。ただし、30代よりも20代の方が5%回答率が高くなっています。「齋宮や平安時代の歴史や文化に触れる体験」では、60代の回答率が高く突出しています。「齋宮または近隣でのグルメやショッピング」は若い年代ほど回答率が高い傾向にあります。「わからない・興味がない」では、若い年代の方が回答率が高い傾向にあります。

Q10 ご自身にとって齋宮で充実・改善すべきものは何だと思われますか。他地域での体験や経験によるものでもよいのでご意見をお聞かせください。

回答の主な内容は次のとおりでした。

- ・小中学校の遠足や社会見学コースに組み入れやすくする改善と積極的な誘致
- ・子連れや家族連れが気楽に参加でき、楽しめるイベントの開催
- ・子連れや家族連れが楽しく時間を過ごせる環境づくり、憩いの場づくり。
- ・ウォーキングイベントの開催や散策マップの作成。交通機関との連携企画の実施。
- ・交通アクセスや交通アクセス情報の改善、道路看板等の改善
- ・利用者層や世代別の利用や楽しみ方の提案
- ・伊勢市や松阪市からの直通バスの運行
- ・県内遠隔地からのバスツアーの企画
- ・伊勢神宮の参拝者が齋宮を立ち寄る旅行プランの提案やツアー企画の売り込み
- ・SNS（ソーシャルネットワークサービス）などで取り上げてもらえるようなスポットをつくり、情報提供する。
- ・ベルファームや大仏山公園でやっているマルシェ・フリーマーケット、〇〇フェスなどのイベント開催
- ・齋宮とは直接関係なくてもよいので、齋宮を訪れるきっかけとなるようなイベントの開催
- ・伊賀市の崇廣堂で開催したようなアートイベントの開催
- ・各施設の敷居の高い、入りづらいイメージの払しょく。施設の中身が外からわかるように。
- ・齋宮以外の魅力（季節の花・食事・みやげ・ショッピングなど）づくりと情報発信。
- ・齋宮周辺の魅力の発掘・情報発信。
- ・中南勢地域以外での広報の充実
- ・県内外の齋宮関係地と連携した企画、広報（パンフレット等の設置・配布など）活動
- ・齋宮のイベントや年間の情報が一括して見られる
- ・齋宮や齋王をとりあげたTVドラマや情報番組、情報誌の特集などの実現
- ・齋宮のことがわかるアニメの制作
- ・齋宮をモチーフとした小説やストーリー性のある紹介、特定の齋王をキャラクター化する。
- ・社会的弱者にも十分な対応が必要。
- ・イベント情報だけでなく、実施した結果情報の発信・充実も必要。
- ・旅行ガイドやインターネットの口コミに情報が掲載されるような広報活動を。
- ・伊勢神宮との関連を強調した企画や広報を。
- ・齋宮の各施設情報が分散しているので、齋宮の各種情報が一度に見られるポータルサイトが必要。
- ・周辺に、おはらい町、あるいは道の駅のような施設があるとよい。
- ・観光を重視するあまり、イベント化している気がする。歴史的な面を大切に。無理な整備をせず、遺跡との調和をはかってほしい。

※なお、認知度が低いので、認知度向上が必要、広報の充実が必要のご意見が多数ありました。